

2018年2月1日

ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）実証事業（経済産業省）への
取り組みについてのお知らせ

大塚グループの医薬品等の物流を担う大塚倉庫株式会社（大阪市港区、代表取締役社長 濱長 一彦）は、「環境にやさしい」物流を実践し「グリーンロジスティクス」で社会貢献することを目指しておりますが、この度2017年11月から改修工事を実施している「大塚倉庫 東京本部（東京都中央区）」におきまして、省エネルギー工事内容が2017年度「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）^{※1} 実証事業」（経済産業省）に採択され、「ZEB リーディングオーナー」として登録されましたのでお知らせいたします。

今回の取り組みでは、新築ではなく古い建物・空間を有効活用し、1次エネルギー消費量が全体の90%占めている『照明』と『空調』エネルギーの徹底的な省エネ化をはかり、削減量50%以上のオフィスビルを誕生させるサステナブル建築を目指します。本建物は2018年10月に竣工予定です。また中長期的には、社員やテナントを含めた省エネ意識の向上をはかり、「Nearly ZEB」^{※2}を目指してまいります。

「環境負荷低減」は、物流の現場だけではなく、ハードの選択、システム構築、オフィスの改善、社員の意識・行動など、全社的な視点での取り組みを求められる大きなテーマだと考えており、大塚倉庫は環境情報の充実を図ることで、皆さまのご理解をいただくとともに、今後も社員一人ひとりが環境への理解を深めることに努めてまいります。

以上

※1：「ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）」とは、建築物における一次エネルギー消費量を、建築物・設備の省エネ性能の向上、エネルギーの面的利用、オンサイトでの再生可能エネルギーの活用等により削減し、年間の一次エネルギー消費量が賞味（ネット）でゼロ又は概ねゼロとなる建築物のことをいいます。

※2：Nearly ZEB：「省エネ率が基準値の50%以上、かつ創エネ（太陽光発電）を含めると50～75%未満のエネルギー削減率を達成している建物」

一般社団法人 環境共創イニシアチブ 公式 HP

<https://sii.or.jp/zeb29/conference.html>

ZEB リーディングオーナー登録申請書

http://www.otsukawh.co.jp/logisticsnews/touroku_shinsei_owh_20180118.pdf